

文部科学大臣 殿

〔設置者の名称〕 国立大学法人岐阜大学

〔代表者の役職〕 学長 〔代表者の氏名〕 森脇 久隆

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

申請者に関する情報

大学等の名称	岐阜大学
大学等の種類 (いずれかに を付すこと)	(大学)・短期大学・高等専門学校・専門学校)
大学等の所在地	岐阜県
学長又は校長の氏名	森脇久隆
設置者の名称	国立大学法人岐阜大学
設置者の主たる事務所の所在地	岐阜県
設置者の代表者の氏名	森脇久隆
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/scholarship/school_support.html

大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)第 7 条第 1 項の確認を申請します。

以下の事項を必ず確認の上、すべての にレ点(☑)を付けて下さい。

- この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。
- 確認を受けた大学等は、大学等修学支援法に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。
- 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。
- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第 7 条第 2 項第 3 号及び第 4 号に該当します。

各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	学務部学生支援課学生支援係長 二村孝史	058 - 293 - 2148	gjea02005@jim.gifu-u.ac.jp
第2号の1	学務部教務課教学企画係長 内田智也	058 - 293 - 2136	gjea01016@jim.gifu-u.ac.jp
第2号の2	学務部学生支援課学生支援係長 二村孝史	058 - 293 - 2148	gjea02005@jim.gifu-u.ac.jp
第2号の3	学務部教務課教学企画係長 内田智也	058 - 293 - 2136	gjea01016@jim.gifu-u.ac.jp
第2号の4	学務部教務課教学企画係長 内田智也	058 - 293 - 2136	gjea01016@jim.gifu-u.ac.jp

添付書類

以下の事項を必ず確認し、必要な書類の にレ点(☑)を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「 - 学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事(役員)名簿

「 - 外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書(シラバス)【再掲】

その他

《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料

- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

様式第2号の1 - 【実務経験のある教員等による授業科目の配置】

大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1 - を用いること。

学校名	岐阜大学
設置者名	国立大学法人岐阜大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
教育学部	学校教育教員養成課程	夜・通信	24		0	54	13	
	特別支援学校教員養成課程	夜・通信			0	54	13	
地域科学部	地域政策学科	夜・通信	14		0	44	13	
	地域文化学科	夜・通信			0	44	13	
医学部	医学科	夜・通信	0		114.3	144.3	19	
	看護学科	夜・通信			23	53	13	
工学部	社会基盤工学科	夜・通信	30	12	21	63	13	
	機械工学科	夜・通信			4	46	13	
	化学・生命工学科	夜・通信			7	49	13	
	電気電子・情報工学科	夜・通信			20	62	13	
応用生物学部	応用生命科学課程	夜・通信	0		25	55	13	
	生産環境科学課程	夜・通信			32	62	13	
	共同獣医学科	夜・通信			41	71	19	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/syllabus.html

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2 - 【 - 学外者である理事の複数配置】

国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2 - を用いること。

学校名	岐阜大学
設置者名	国立大学法人岐阜大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.gifu-u.ac.jp/about/president/director.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	前・岩手大学理事	2018年4月1日 ～ 2020年3月31日	総務・財務担当
(備考) 2020年4月1日までに、設置予定の国立大学法人東海国立大学機構において、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第 2 号の 3 【 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岐阜大学
設置者名	国立大学法人岐阜大学

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>「シラバス作成のためのガイドライン」を策定し、全学的にシラバス記載内容の統一を図っている。シラバスの代表的な作成過程は以下のとおりであり、毎年3月ごろに公表している。</p> <p><シラバスの作成過程例：全学共通教育科目></p> <p>6月下旬 新規開講科目の募集を開始</p> <p>1 1月初旬 会議にて新規開講科目のシラバスを確認し開講可否を決定</p> <p>1 1月下旬 次年度時間割を各教員へ照会</p> <p>1 2月中旬 各教員へ学務情報システムへのシラバス入力を依頼</p> <p>1月下旬 シラバス入力の期限</p> <p>2月上旬 各科目区分の会議体においてシラバスの内容をチェック</p> <p>3月中旬 WEB シラバスの公表</p>	
授業計画書の公表方法	https://alss-portal.gifu-u.ac.jp/campusweb/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目の学修成果の評価については、岐阜大学学則第 41 条に基づき、取り扱っている。また、「岐阜大学成績評価に関する申し合わせ」を策定し、各標語の基準等を明確に定め、公表している。さらに、各授業科目のシラバスにおいては、各授業科目の到達目標を示すとともに、当該到達目標に記載された学修成果の到達度を評価する判断基準や方法、評価割合を明確に定め、公表している。</p> <p>岐阜大学学則 抄</p> <p>(授業科目の成績)</p> <p>第 4 1 条 授業科目を履修した者に対しては、原則として試験を行う。この場合、定期試験は、学期末又は学年末に行うものとする。</p> <p>2 履修した授業科目の成績は、前項に規定する試験のほか、研究報告、随時行う試験、出席及び学修状況等により総合判定する。</p> <p>3 授業科目の成績は、秀、優、良、可及び不可の 5 種の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とする。ただし、卒業研究の成績は、合格又は不合格の評語を用いることができる。</p> <p>岐阜大学成績評価に関する申し合わせ</p> <p>https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/value/result.html</p>	

3 .成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「岐阜大学におけるG P A制度の取扱いに関する要項」を策定しG P Aの算出方法を明確にするとともに、同要項を公表している。また、それを基に各学生のG P Aを算出し、分布を把握している。

<G P Aの算出方法等(岐阜大学におけるG P A制度の取扱いに関する要項より抜粋)>

(G P Aの種類及び算出方法)

- ・ G P Aの種類は、当該学期における学修の状況及び成果を示す指標としてのG P A(以下「学期G P A」という。)及び在学中における全期間の学修の状況及び成果を示す指標としてのG P A(以下「通算G P A」という。)の2種類とする。
- ・ 学期G P A及び通算G P Aは、次の計算式により算出し、小数点以下第3位を四捨五入する。

(1) 学期G P Aの計算式

$$\text{学期G P A} = \frac{(\text{Sの単位数} \times 4) + (\text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{Dの単位数} \times 0)}{\text{当該学期に履修登録した総単位数}}$$

(2) 通算G P Aの計算式

$$\text{通算G P A} = \frac{(\text{Sの単位数} \times 4) + (\text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{Dの単位数} \times 0)}{\text{入学時以後に履修登録した総単位数}}$$

(G P A対象科目)

- ・ G P A対象科目は、次に掲げる授業科目とする。
 1. 評点が0点から4点の5段階によって成績評価されるすべての授業科目とし、認定(N)、合格(G)及び不合格(F)の評価を得た科目は、G P A算出の対象としない。
 2. 教育職員免許や学芸員その他の資格取得が目的で、卒業要件単位数に含まれない授業科目についても、G P A算出の対象とする。

(G P A算出基準日)

- ・ G P Aは、学期ごとに設けられるG P A算出基準日ごとに更新することとする。
- ・ G P A算出基準日は、原則として前学期にあつては9月下旬、後学期にあつては3月下旬とする。
- ・ 教員は、G P A算出基準日までに成績を確定させるものとする。

岐阜大学におけるG P A制度の取扱いに関する要項

https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/value/result.html

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/value/result.html

<p>4 . 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>大学全体及び各学部等において「卒業の認定に関する方針」(ディプロマ・ポリシー)を策定し、公表している。</p> <p>卒業の要件については、各学部にて学部規程に明記し、ホームページ等で公表している。卒業の認定は、岐阜大学学則第 60 条により、当該要件に基づき、各学部教授会にて審議のうえ、学長が認定している。</p> <p>岐阜大学学則 抄 (卒業の認定)</p> <p>第 6 0 条 卒業の認定は、第 1 6 条に規定する修業年限以上在学し、別に定める授業科目を履修し、卒業要件として定める単位を修得した者について、学長が行う。</p> <p>2 学長は、前項に規定するもののほか、学校教育法第 8 9 条に定めるところにより、学生(医学部医学科及び応用生物科学部共同獣医学科の学生を除く。)が本学に 3 年以上在学し、卒業の要件として定める単位を特に優秀な成績で修得したと認める場合には、その卒業を認めることができる。</p> <p>3 前 2 項に規定する卒業の認定は、学年の終わり(秋季入学した者にあつては、第 1 6 条に規定する修業年限に達する学期の終わり)に行う。ただし、学年の終わりに行う卒業の認定を受けることができなかつた者については、別に定める時期に認定を受けることができるものとする。</p> <p>4 第 1 項から前項までに定めるもののほか、卒業の認定に関し必要な事項は、別に定める。</p> <p>各学部の卒業認定の基準 https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/value/standard.html</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/policy_f.html</p>

様式第2号の4 - 【財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4 - を用いること。

学校名	岐阜大学
設置者名	国立大学法人岐阜大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.gifu-u.ac.jp/about/financial_affairs/29syohyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.gifu-u.ac.jp/about/financial_affairs/29syohyou.pdf
財産目録	(国立大学法人は該当なし)
事業報告書	https://www.gifu-u.ac.jp/about/financial_affairs/29jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.gifu-u.ac.jp/about/objectives/audit/29kanjiiken.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:国立大学法人岐阜大学年度計画 対象年度:2019)
公表方法: https://www.gifu-u.ac.jp/about/objectives/mid_obj/03_31_plan_1.pdf
中長期計画(名称:国立大学法人岐阜大学中期計画 対象年度:2016~2021)
公表方法: https://www.gifu-u.ac.jp/about/objectives/mid_obj/03_plan.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.gifu-u.ac.jp/about/objectives/mid_obj/29_jikotenken.pdf https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/ir/certification/hyoka.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.gifu-u.ac.jp/about/objectives/mid_obj/H25hyokasho.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/purpose_f.html)</p> <p>(概要) 本学部は、平和で豊かな未来を希求する子どもたちの教育を担う学校教員を養成する学部であり、地域・国・世界の教育と福祉に貢献しうる豊かな人間性と幅広い教養、深い知性と洞察力を持ち、これまでに蓄積された知識を批判的に継承しつつ自ら課題を設定し創造的に解決できる専門的能力を備えた人材の育成を目的とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.ed.gifu-u.ac.jp/kyoiku/gifuuedu-cont/about/policy-f.html)</p> <p>(概要) 教育学部は、以下のような教育専門職および教育関係者として必要な能力を備えた者に対し、学士(教育学)の学位を授与します。</p> <p>社会人としての基本的な能力とコミュニケーション能力</p> <p>達成すべき水準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な行動について判断する能力がある。 ● 教職員、保護者、地域の関係者等と良好なコミュニケーションをとることができる素養を身につけている。 <p>子どもを理解し、子どもと関わる能力</p> <p>達成すべき水準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子ども理解のために必要な基礎知識を持ち、受容的な態度で接することができる素養を身につけている。 ● 子どもとの間に信頼関係を築き、学業・団を把握し統率する素養を身につけている。 <p>教育実践の方法と技術に関する能力</p> <p>達成すべき水準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教育の理念、歴史、思想について基礎知識がある。 ● 教育課程の編成に関する基礎知識がある。 ● 教科書や学習指導要領の内容を理解している。 ● 授業を行う上での基本的な方法・技術を身につけている。 ● 各教科や学習活動に対する評価について理解している。 <p>教科等の指導に関する能力</p> <p>達成すべき水準</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 専門分野 についての知識と洞察力、およびそれらを教育現場等に生かす能力を身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.ed.gifu-u.ac.jp/kyoiku/gifuuedu-cont/about/policy-f.html)</p> <p>(概要) 教育学部は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を実現するため、以下のカリキュラムを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各種教員免許取得に必要な授業科目を開講します。 ● 実習・実践科目である A C T プランをコアとし、さらに 2 年次には介護等体験を位置付けるなど、教育現場での体験を重視したカリキュラムを展開します。A C T プランでは、附属学校をはじめ岐阜県の小・中学校と密接に連携をとり、1 年次の教職トライアル、2 年次の教職リサーチ、3 年次の教職プラクティス、4 年次の教職インターンでの実習を通して、子どもを理解し子どもと関わる能力、社会性やコミュニケーション能力、な

<p>らびに教員として必要な基礎知識とその応用力を養います。</p> <ul style="list-style-type: none"> •1・2年次の教養教育において教育学部専門教科の学びの土台を育みます。また、自らの専門性を生かして地域の問題解決に取り組み、地域のリーダーとして活躍できる能力を育成します。 •学年が進むにしたがい教育に関わる教職科目と教育内容の柱となる教科科目、さらに教育方法に関する科目を配置し、教科等の指導力や教育実践の方法と技術に関する能力を育てます。 •4年次では、1年次より実習に関する内容等を記録した学修録をもとに、教職実践演習を通して教員の資質（子どもと関わる能力、社会性やコミュニケーション能力、教育実践の方法と技術に関する能力、教科等の指導力に関する能力）を補完します。同時に、大学の学修の集成として卒業論文等を作成し専門分野の知識を深め、洞察力を養います。卒業論文等は複数の教員によって評価します。また、卒業論文発表会等を行うことにより、プレゼンテーション能力を高めます。 •各授業科目は、学修段階での位置付けや順序を明示し、教員養成に必要な内容を体系的に修得できるように編成します。また、GPA制度、キャップ制を導入し、適正な修得単位数に限定するなど学修時間の確保を通じて単位の実質化を図ります。 •専門とする教科等の授業や演習・実験・実技は、講座のまとまりを活かし、少人数を基本にしながら、講座の特色を生かした内容と方法で実施します。教育実習および教職科目では、講座間のコミュニケーションも大切にしながら実施します。個々の授業科目の学修内容等については、カリキュラムマップとシラバスに記載します。恒常的にカリキュラムを点検し、学修、指導方法の改善に努めます。 <p>以上のような入学から卒業までの4年間の学修を支えるため、各学生には教学委員、指導教員等によるアドバイザー制を設け、学修活動を支援します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 （公表方法：http://www.ed.gifu-u.ac.jp/kyoiku/gifuedu-cont/about/policy-f.html）</p>
<p>（概要） 基本理念 岐阜大学教育学部は、岐阜県を中心として活躍する、優れた専門的知見と指導能力をもつ教員、ならびに社会の多様な学習要求に応える教育専門職及び教育関係者の養成を目的とする学部です。本学部は、教育を通じて、平和で豊かな世界の実現に貢献する人材を育成します。</p> <p>求める学生像 知識・技能 大学での学修に必要な教科・科目の基礎知識、実技系においてはその基礎的实践能力を有する人</p> <p>思考力・判断力 知識・技能を批判的に継承しつつ、多様かつ創造的な思考・判断ができる人</p> <p>表現力 子どもや保護者をはじめ社会の様々な人の声に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる能力をもつ人</p> <p>主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 大学並びに教育実践の場における様々な学修を通じて、自ら進んで他者と協働し、教職に対するよりよい理解を得ようとする人</p> <p>その他の教育学部が求める要素 <ul style="list-style-type: none"> •豊かな人間性の上に、教育に対する情熱と責任感を有する人 •岐阜県を中心とした教育現場で活躍できる人 </p>
<p>学部等名 地域科学部</p>
<p>教育研究上の目的 （公表方法：https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/purpose_f.html）</p>

<p>(概要)</p> <p>本学部は、人文科学、社会科学及び自然科学の諸専門領域の基盤的研究を維持強化しつつ学際的に協同させることにより、地域概念の多様性を学術文化的に広く探究します。専門的知見と併せて、人間や社会に対する深い洞察力と的確な判断力を備え、より良い地域社会の構築を目指す教育研究を行います。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.rs.gifu-u.ac.jp/c-d_policy.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>地域科学部では、教育課程において所定の単位数を修得するとともに、地域の社会や文化が抱えるさまざまな問題を、地域に根ざし地域から構想することで解決し、暮らしやすく平和で文化的に高度な地域社会を創り出すために必要な専門的能力を備えた人に学士の学位を授与します。</p> <p>地域科学部では、岐阜大学で育成すべき基盤的能力を基礎として、以下の専門的能力を備えた人材育成に向けて、能力の修得・達成を保证するために、厳格な単位・卒業認定を行います。</p> <p>・創造的思考力と論理的思考力 地域社会を取り巻く自然環境および歴史を総合的に把握し、多角的な視点から地域の政策的課題について論理的に分析して創造的な思考ができる。</p> <p>・課題発見力と政策立案力 現代社会の諸課題を発見し、人文科学、社会科学、自然科学の幅広い学問的蓄積をふまえて、個別課題に対する政策を立案できる専門的能力を身につけている。</p> <p>・コミュニケーション力および実行力 多様な価値観や思想と異なる文化を理解し、それらとの共存と交流を図りつつ、国際的な視野をもって地域社会の形成に参画することができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.rs.gifu-u.ac.jp/c-d_policy.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>文系分野を主とする学生は理系の知識を、理系分野を主とする学生は文系の知識も兼ね備えることで、総合的な視野と幅広い知識を修得します。このために、人文科学、社会科学、自然科学及びそれらの融合領域に関する多彩な科目を開設しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生自身が学問的関心や興味のある分野を選択して専門的に学ぶことができるように、6つのコース（産業・まちづくりコース、自治政策コース、環境政策コース、生活・社会コース、人間・文化コース、国際教養コース）を開設しています。 ・多文化共生の社会で活躍できるようにするために、複数の言語を使った学修を行い、国際的な視野や多様な地域の文化への関心を培います。 ・地域の社会や文化が抱える現実の問題に対して実践的に取り組む方法を学ぶために、全学部生必修科目の社会活動演習と地域学実習の履修を課します。 ・初年次セミナー、基礎セミナー、及び専門セミナー（1学年4人以下）において4年間を通した少人数でのセミナー教育を行うことで、課題発見力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を養います。
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：http://www.rs.gifu-u.ac.jp/admission_policy.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>教育理念・目標 地域科学部は、「地域」がキーワードとなるさまざまな社会的及び文化的課題について、人文科学、社会科学ならびに自然科学の基礎学力をもとにして、総合的に考究する能力を育てることを目標としています。これにより発展的な地域創成や、豊かな社会形成に貢献でき、リーダーシップを発揮できる人の育成を目指します。</p> <p>求める学生像 このような理念・目標のもと本学部の学生には、主に次のような資質を持っていることを望みます。</p>

1. 人間社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。
2. 物事をさまざまな視点から総合的かつ論理的に考えることができる。
3. 自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。
4. 他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現する能力を持っている。
5. 幅広い学問分野を学びながら、自己の専門分野を次第に決定してゆきたいという意欲を持っている。

学力の3要素について

本学部は、学力の3要素のどの要素も重視しています。知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、その他の要素を相互に関連付け、相互に補い合うように学んでくることを期待しています。

・知識・技能

人間・社会の営みや自然との関わりに基礎的な知識、技能を持っている。

・思考力・判断力

さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考えることができる。

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

・表現力

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

・その他の要素

人間・社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。

学部等名 医学部医学科

教育研究上の目的

(公表方法：https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/purpose_f.html)

(概要)

本学部は、医学の基礎と高度な専門知識・技能及び態度を教授することにより、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って、世界と地域の医学・医療の発展に貢献できる優れた医療人及び医療系研究者を育成することを目的とします。

卒業の認定に関する方針

(公表方法：<http://www.med.gifu-u.ac.jp/med/diploma.html>)

(概要)

岐阜大学医学部医学科は、以下のような能力を備えた卒業生を輩出します。

1. 医療・保健の専門職としての基本的な知識力・判断力・問題解決力
2. 知識に裏付けされた医師としての基本的技能及び態度
3. 社会人としての素養を高め、自然科学的・社会心理学的方法を統合して、医学的問題を適切に解決する能力
4. 生涯にわたって個人・集団としての資質向上をめざし、常に自らを省察し、たゆまぬ自己指導的な学習ができる実践力

本学科は、卒業生の上記能力の修得・達成を保證するために厳格な単位・卒業認定を行い、学位を授与します。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<http://www.med.gifu-u.ac.jp/med/curriculum.html>)

(概要)

岐阜大学医学部医学科は、地域や世界で活躍できる医師を育成するため、以下の方針に基づいて到達目標を明確にした体系的な教育課程を編成し、点検・評価を通じた不断の改革に取り組みつつ実施します。

1. 基礎・臨床医学を統合し科学的に生命と向き合う能力を培う
2. 学生中心で能動的に学ぶ能力を培う
3. 能動的・体験的に問題解決出来る能力を培う

<p>4．同僚・チームとともに学び合う文化を醸成する</p> <p>5．地域に根ざした教育や英語教育、海外実習等を通じて、国際的な視野を持って地域や社会で活躍できる能力を培う</p> <p>6．医師としての全人的成長が出来る能力・態度を養う</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.med.gifu-u.ac.jp/med/index.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>教育理念 岐阜大学医学部医学科は、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って教育・研究・臨床に邁進しています。その理念の下に医学の基礎と高度な専門知識・技能を有し、世界と地域の医療・医学の発展に貢献できる優れた医療人・医学研究者を育成することを最大の使命としています。</p> <p>求める学生像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人 2．自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人 3．協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人 4．向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人 5．地域や国際社会で貢献する意志を持つ人 6．責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人 <p>学力の3要素について</p> <p>[知識・技能] 広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人</p> <p>[思考力・判断力] 自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人</p> <p>[表現力] 協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人</p> <p>[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]</p> <ol style="list-style-type: none"> (a) 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人 (b) 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人 (c) 責任感と倫理観が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

<p>学部等名 医学部看護学科</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/purpose_f.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学部は、医学の基礎と高度な専門知識・技能及び態度を教授することにより、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って、世界と地域の医学・医療の発展に貢献できる優れた医療人及び医療系研究者を育成することを目的とします。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.med.gifu-u.ac.jp/nur/education.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>岐阜大学医学部看護学科では、岐阜大学で育成していく基盤的能力を基礎として、以下のような能力を備えた人材育成に向けて、能力の修得・達成を保証するために、厳格な単位、卒業認定を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．人の尊厳と、生命を尊重する姿勢に基づいた倫理的配慮ができる能力 2．人間・環境・健康・看護に興味・関心を持ち、多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴を理解する能力 3．看護を必要としている個人・家族・地域社会に対して、対象に応じた看護が実践できる能力 4．変化する保健・医療・福祉システムの中で、チーム医療を担う一員として、他職種の役割を理解し、協働的關係を築き調整する能力

5. 看護専門職として、将来的な展望を持ち、自らを振り返りながら研鑽する態度や、自律的に行動する能力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.med.gifu-u.ac.jp/nur/education.html)</p> <p>(概要) カリキュラムは、入学時から卒業後まで一貫性・整合性をもった教育体制をとることに より、看護に関して初学者である学生が段階的にディプロマポリシーの5つの能力を修得し ていくための教育プログラムです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的で自律的な姿勢を尊び、人々の生活背景、社会・文化的背景に視点を向け、看護 を必要とする人々を生活者として捉えた人間性豊かな、そして根拠のある看護実践を展 開する能力が修得できるよう教養教育、専門基礎科目、専門科目の3群からなる教育課 程の編成としています。 2. 看護を、「人間の健康に焦点を当て、その人とその人を取り巻く環境に働きかけ、人 間が健康に生き、安らかな死を迎え、さらに健全な次世代の育成を援助する実践である」 と捉え、看護実践の基盤となる専門基礎科目から看護実践に関する専門科目への積み上 げによる配置としています。 3. 授業・演習・実習において、看護専門職として多様な価値観を持ち総合的な判断がで きる能力、他職種と協働して活動ができるようコミュニケーション能力、チームのリー ダー、コーディネーターの役割が担える能力の向上を意図としたアクティブラーニングを 取り入れる工夫を行います。また、主体的で自律的に何事にも取り組める姿勢や自己 研 鑽する態度の推進を行います。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.med.gifu-u.ac.jp/nur/enroll.html)</p> <p>(概要) 教育理念 看護学科は、看護学をはじめ保健・医療・福祉の各分野に貢献できる人間性豊かで倫理 観に富む資質の高い看護の専門職を養成するとともに、看護学の教育研究の推進も目指し ます。少子高齢社会の到来や疾病構造の変化など、保健・医療・福祉分野が担う役割は複 雑化、高度化しています。さらに活躍の場は医療施設にとどまらず、地域へと拡大してい ます。看護学科では、保健・医療・福祉に関する深い関心を持った学生を求めています。 以下のような資質が必要となります。</p> <p>求める学生像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人。 ・身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断がで きる能力を持っている人。 ・他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力 を持っている人。 ・看護をはじめさまざまな学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求 心に富み、自己学習意欲が旺盛である人。 ・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人。 ・自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人。
<p>学部等名 工学部</p> <p>教育研究上の目的 (公表方法：https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/purpose_f.html)</p> <p>(概要) 本学部は、社会、自然、文化等に深い見識、優れた感性、健全な心と倫理観を持つと同 時に、専門的職業能力を支える基幹的な体系化された学問を修得し、個性に応じて専門的 特化型から幅広い総合型までの多様な能力を持った、人間性豊かで創造力に富んだ技術者 の育成を目指します。</p>

<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：http://www.eng.gifu-u.ac.jp/faculty/gakubu-Purpose.html)</p>
<p>(概要) 岐阜大学工学部は、以下のような能力を備えた卒業生を輩出します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ものづくり等の技術者として研究開発を推進できる基礎学力と創造力(基礎学力と創造力) 2. 幅広い教養、深い見識、社会人としての責任感に基づく倫理観と判断力(倫理観と判断力) 3. 問題を解決するための方法を忍耐強く探索する能力(忍耐強く探索する能力) 4. 研究開発を行うためのコミュニケーションスキル、協調性(協調性)
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：http://www.eng.gifu-u.ac.jp/faculty/gakubu-Purpose.html)</p>
<p>(概要) 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を実現するため、以下のカリキュラムを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工学の基礎となる数学、物理、情報処理およびコミュニケーションツールとしての英語の修得、さらに専門とは異なる分野の概論の履修を通して、研究開発に必要な基礎学力を養成します。 ・人文科学、社会科学等からなる全学共通科目を開講し、幅広い教養、深い見識、倫理観、判断力を養うとともに、豊かな知性と人間性を育みます。 ・専門分野の講義に加え、演習・実験を配し、学理の基礎と応用を実践的に修得させるとともに、問題解決方法を探索する能力を涵養します。 ・指導教員や大学院生との討論を通し、研究開発のための総合的なコミュニケーション能力、協調性、論理的な記述力、問題解決能力を養う場として卒業研究を課します。 ・きめ細かく学習プログラムの進捗を自己認識させ、修学意欲を高めるようにします。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：http://www.eng.gifu-u.ac.jp/faculty/gakubu-Purpose.html)</p>
<p>(概要) <教育目的> 工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養います。同時に専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育みます。これにより、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指します。</p> <p><求める学生像> 本学部では、21世紀の社会を支える先端的な工業技術に対する深い関心があり、以下のような資質を持った学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人 2. 理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、新しい発想ができる人 3. 相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人 4. 知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人 5. 国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人 <p>多様な入試を実施し、個性の異なる学生を受け入れて積極的に活性化を図っています。</p>

学部等名 応用生物科学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/purpose_f.html)
(概要) 本学部は、以下のような能力を養うための教育を組織的に展開し、広く生物科学・生命科学や関連産業に貢献できる人材を養成します。 a. 生物科学・生命科学の学理を究明する力 b. 変貌する社会環境に対して主体的に対応する力 c. 変貌する社会において自ら将来の課題を設定する力 d. 幅広い視野・経験と広い専門的知識に基づき柔軟かつ総合的な判断を自ら下す力
卒業の認定に関する方針 (公表方法： http://www.abios.gifu-u.ac.jp/philosophy/admissionpolicy.html)
(概要) 応用生物科学部は、以下の5つの素養・力を兼ね備え、「教育理念・教育目標」で掲げられた目標を達成できる総合的な能力を備えている者に対して学士の学位を授与します。 a. 大学人たるリテラシー(広義) b. 一般的な社会通念 c. 農学系科学における通念 d. 応用生物科学の学術スキル e. 応用生物科学における実践力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： http://www.abios.gifu-u.ac.jp/philosophy/admissionpolicy.html)
(概要) 応用生物科学部では、基礎学力と社会通念に裏付けられた応用生物科学を以下の4つの科目区分により習得します。 a. 学士として身につけておくべき教養の素養を習得する「全学共通科目」 b. 応用生物科学の素養を習得する「教養基礎科目」 c. 各課程で学ぶための素養を習得する「専門基礎科目」 d. 各コース教育で習得する専門性を培う「専門科目」 ただし、共同獣医学科では、「全学共通科目」および「教養基礎科目」は「一般教養科目」に、「専門基礎科目」は「専門科目」に含まれています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： http://www.abios.gifu-u.ac.jp/philosophy/admissionpolicy.html)
(概要) 応用生物科学部は、基礎学力、応用力、論理的思考能力、協調性、自主性、国際性、学習意欲などを判定する、多様な入試制度により入学者を選抜し、以下の目標の達成に強い意欲を持って学習に励む人材を求めます。 a. 安全かつ安心できる食の安定供給 b. 高機能性食品の開発と健康の増進 c. 生物資源・生体成分と生命機能の利活用 d. 環境と調和した食料生産 e. 自然生態系および人間の生活環境の修復と保全 f. 人と動物の健康と福祉の向上

教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.gifu-u.ac.jp/about/overview/courses_f.html

教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
-	1人	-					1人
教育学部	-	39人	38人	0人	11人	0人	88人
地域科学部	-	20人	15人	1人	2人	0人	38人
医学部	-	54人	59人	5人	55人	1人	174人
工学部	-	77人	59人	0人	42人	0人	178人
応用生物科学部	-	41人	38人	0人	22人	0人	101人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
4人		457人					461人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://cv01.ufinity.jp/gifu_u/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/liberal_arts_education/FD/FD.html							
https://www.orphess.gifu-u.ac.jp/learning_supporting/ALS_report/report.html							

入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	250人	261人	104.4%	1000人	1040人	104.0%	人	人
地域科学部	100人	107人	107.0%	420人	472人	112.3%	10人	4人
医学部	190人	192人	101.0%	997人	997人	100.0%	10人	0人
工学部	510人	532人	104.3%	2100人	2268人	108.0%	30人	33人
応用生物科学部	190人	201人	105.7%	840人	896人	106.6%	10人	1人
合計	1240人	1293人	104.2%	5357人	5673人	105.8%	60人	38人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	251人 (100%)	40人 (15.9%)	206人 (82.1%)	5人 (2%)
地域科学部	113人 (100%)	3人 (2.7%)	108人 (95.6%)	2人 (1.8%)

医学部	168人 (100%)	1人 (0.6%)	70人 (41.7%)	97人 (57.7%)
工学部	522人 (100%)	336人 (64.4%)	178人 (34.1%)	8人 (1.5%)
応用生物科学部	211人 (100%)	104人 (49.3%)	106人 (50.2%)	1人 (0.5%)
合計	1265人 (100%)	484人 (38.3%)	668人 (52.8%)	113人 (8.9%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
教育学部：公立学校教員,公務員(岐阜県等) 地域科学部：公務員(岐阜県等),金融機関 医学部：市民病院,養護教諭,岐大病院 工学部：公務員(愛知県等),三菱電機,トヨタ紡織 応用生物科学部：公立学校教員,公務員(岐阜県等),アピ,ぎふ農協,動物病院				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	261人 (100%)	236人 (90.4%)	17人 (6.5%)	8人 (3.1%)	0人 (0%)
地域科学部	109人 (100%)	98人 (89.9%)	10人 (9.2%)	1人 (0.9%)	0人 (0%)
医学部医学科	107人 (100%)	87人 (81.3%)	15人 (14.0%)	5人 (4.7%)	0人 (0%)
医学部看護学科	79人 (100%)	69人 (87.3%)	9人 (11.4%)	1人 (1.3%)	0人 (0%)
工学部	528人 (100%)	451人 (85.4%)	51人 (9.7%)	23人 (4.4%)	3人 (0.6%)
応用生物科学部(応用生命,生産環境)	174人 (100%)	167人 (96.0%)	5人 (2.9%)	2人 (1.1%)	0人 (0%)
応用生物科学部(獣医学科)	32人 (100%)	28人 (87.5%)	4人 (12.5%)	0人 (0%)	0人 (0%)
合計	1290人 (100%)	1136人 (88.1%)	111人 (8.6%)	40人 (3.1%)	3人 (0.2%)
(備考)					

授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)【様式第2号の3より再掲】</p> <p>「シラバス作成のためのガイドライン」を策定し、全学にシラバス記載内容の統一を図っている。シラバスの代表的な作成過程は以下のとおりであり、毎年3月ごろに公表している。</p> <p><シラバスの作成過程例：全学共通教育科目></p> <ul style="list-style-type: none"> 6月下旬 新規開講科目の募集を開始 11月初旬 会議にて新規開講科目のシラバスを確認し開講可否を決定 11月下旬 次年度時間割を各教員へ照会 12月中旬 各教員へ学務情報システムへのシラバス入力を依頼 1月下旬 シラバス入力の期限 2月上旬 各科目区分の会議体においてシラバスの内容をチェック 3月中旬 WEBシラバスの公表
--

学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)【様式第2号の3より再掲】				
各授業科目の学修成果の評価については、岐阜大学学則第41条に基づき、取り扱っている。また、「岐阜大学成績評価に関する申し合わせ」を策定し、各標語の基準等を明確に定め、公表している。さらに、各授業科目のシラバスにおいては、各授業科目の到達目標を示すとともに、当該到達目標に記載された学修成果の到達度を評価する判断基準や方法、評価割合を明確に定め、公表している。				
卒業の要件については、各学部等にて定め、公表している。卒業の認定は、当該要件に基づき、各学部教授会にて審議のうえ、学長が認定している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部		135 単位	有	28 単位
地域科学部		129 単位	有	(教養科目のみ)18 単位
医学部	医学科	197.3 単位	有	(教養科目のみ)24 単位
	看護学科	127 単位	有	(教養科目のみ) 22 単位/前学期 20 単位/後学期
工学部		132 単位	有	30 単位 (1年次のみ)34 単位
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	128 単位	有	30 単位
	共同獣医学科	191 単位	有	30 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: キャンパスガイド https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/student/campusguide.html 岐阜大学概要 https://www.gifu-u.ac.jp/about/publication/publications/gaiyo.html 交通アクセス https://www.gifu-u.ac.jp/access/

授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
全学部		535,800 円	282,000 円	円	

大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教育推進・学生支援機構学修支援部門では、授業時間内外において学生が能動的な学修を行えるよう支援する e-Learning システム「AIMS-Gifu」を運用しており、授業を担当する常勤教員が様々な形で AIMS-Gifu を利用しています。また、能動的な学びを展開できる場としてアカデミックコモンズ(アカデミック・コア、アクティブラーニング教室、メディアコモンズの総称)を開設し、学生同士のディスカッションやプレゼンテーションで学びを深める場を提供しています。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

教育推進・学生支援機構キャリア支援部門では、キャリア支援、就職支援、イノベーション創出若手人材養成の3つにより、学生を支援できる体制を整えています。キャリア支援では、社会的・職業的自立を図るキャリア形成に向けて充実した学生生活を送れるよう支援し、様々な問題や悩みの相談に応じています。就職支援では、受け付けた求人票を公開し、就職活動参考書、セミナーを実施しています。イノベーション創出若手人材養成では、博士後期課程学生に対する英語での発表の手引き等、社会で即戦力となる実践的なプログラムを実施しています。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

保健管理センター、学生相談室、障害学生支援室及びキャンパスヘルパーが連携を取り、学生支援を行っている。保健管理センターには内科医、精神科医、臨床心理士、看護師等を配置し、学生の心身の健康管理支援を行っている。障害学生支援では、障害がある学生をはじめ、大学生活を続ける上で様々な困難を抱えた学生を支援すべくサポートルームを設置し、スタッフを配置している。その他、キャンパスライフヘルパーを各学部や学務部などの教職員計106名が担当し、勉学上や学生生活で困っていること、友人関係の悩みや各種ハラスメントの窓口となっている。

教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.gifu-u.ac.jp/about/information/teaching.html>